

閉館前に
行っておきたい!

庄内映画村資料館へGO!

「スタジオセテック オープンセット」は
羽黒の川代(はつこう山奥)にあります。
それとは別に、羽黒の松ヶ岡に、衣装やセットを展示した
「庄内映画村資料館」があります。

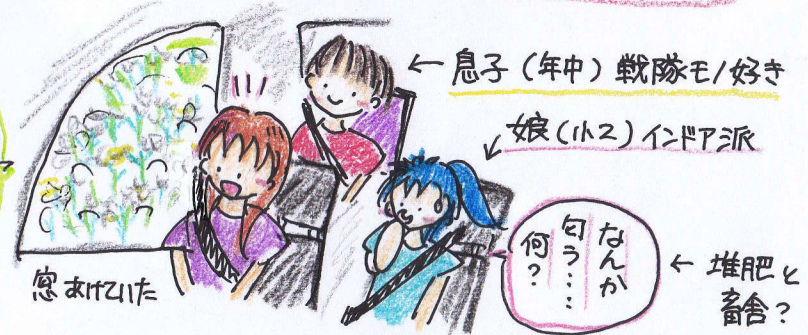
... というわけで、
子ども2人連れて 見に行きました!!

企画展、夏休み特集で「平成映画史 アニメ特撮編」ポスター展示とかやってる! 見たい!!

晩秋蚕の展示も別の蚕室でやってる! 子どもに見せたい!

※ R1.9月1日始め
↑別料金(セット有)

ソバの花だ
すごいキレイ!!
一面真っ白



ichi

明治9年(150年近く昔!)に建てられた
日本遺産・国指定史跡「松ヶ岡開墾場」。
5つある木造蚕室のうち「五番蚕室」が使われています。

入館料

	個人	団体(20人以上)
一般(高校生以上)	500円	450円
小・中学生	200円	150円
幼児	無料	

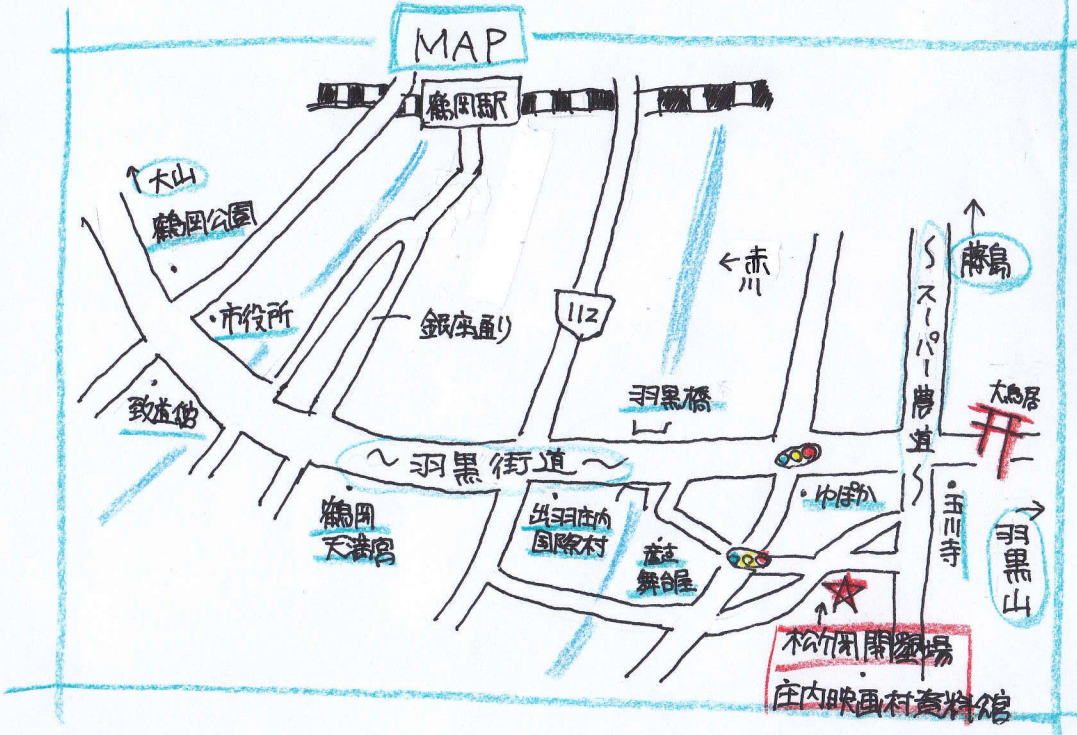
受付

えっ、カインの展示まだなんですけど...

来週には子ども予定です!

生き物の発育はカレンダーとオリにはいきませんね。
(予定日すぎた生まれた子) (下の子も)

暑い!! (冷房なし)



★企画展

「さらば平成～映画でふり返る30年～」

「アニメ・特撮編 (R1. 7/30 ~ 9/10で終了)」
 大きいポスターも見知ったアニメ作品が
 たくさんで、子どもたち大喜び!
 (現在 ~ 9/10までは洋画編を展示)



劇場版の ↑
特大ポスター

千と千尋の神隠し
 カオナシを忘れない



—特撮コーナー—

—ジブリコーナー—



ラピュタ!
 トロ!!

小さいパンフレットも、シリーズごとに貼られていました。

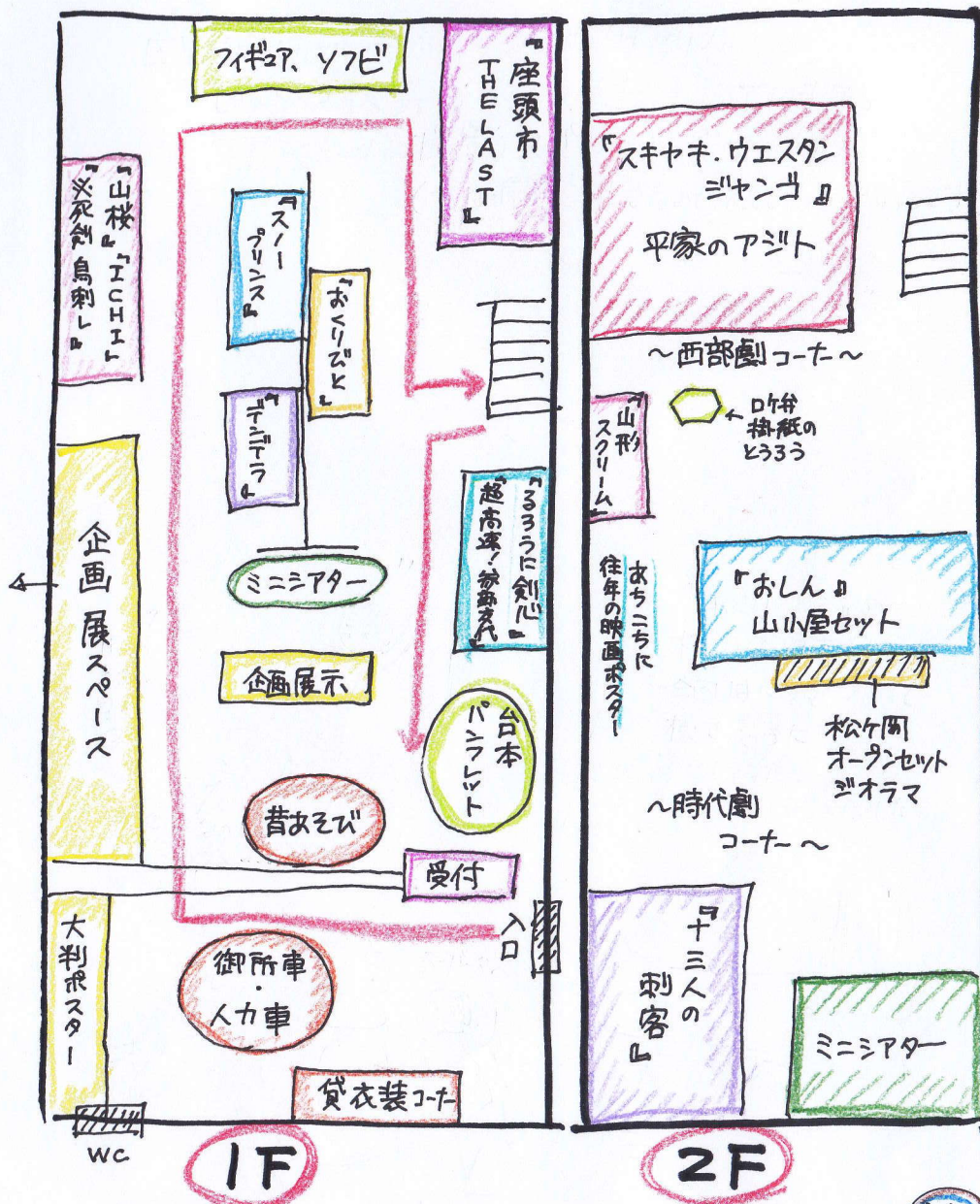


娘の背と変わらない
3F建てのドールハウスの

常設の
「昔あそび」
コーナーにも
夢中になって
いました。



XINGOの山
 (筋肉マン、鉄人28号もいた)



資料食官の配置はこんな感じです。



★ 1F 常設展示

★ 2F 常設展示

いずれも「記念撮影スポット」以外は撮影禁止です！（なのでイラストもうろおぼえで失礼します）
 庄内映画村でロケをした映画のセットや衣装、小道具が多数展示されています！



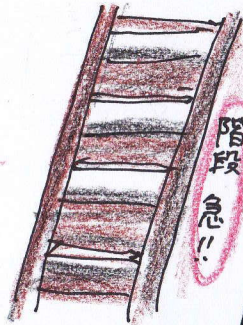
『デンデラ (H.11)』
 (天願大介監督)
 衣装！趣あるー！



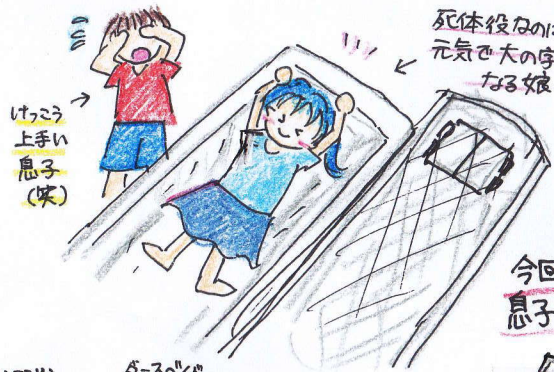
映画に出演した
 キャスト・スタッフの
 サイン色紙

他「スーパーマン」

『座頭市 THE LAST』
 『ろくにん 剣心』
 『超高速！参勤交代』
 など
 パネルやポスターが
 ドーンと展示されていた



階段急!!



↑
 上手い
 息子 (笑)

死体役なのに
 元気で大の字に
 なる娘...

日本初 米アカデミー
 外国映画賞をとった
 名作『おくりびと』
 (H08. 滝田洋二郎監督)
 劇中で使われた
 棺桶に入れます！

今回は娘を入れて (大人もOK)
 息子が哀悼する小芝居をさせてみました



台本やパンフレット、
 映画雑誌もあります。



(本当は
 シナリオマンです)

ソフィア人形やフィギュアもいろいろ。

『山形スクリーム (H09)』(竹中直人監督)
 顔ハXや キャスト衣装



成海鞠子ちゃん
 制服



オープンセットのジオラマ

『スキヤキウェスタン ジャンゴ (H07)』
 (三池崇史監督)
 平家のアジト「赤の宿坊」ハテ!!



北島三郎の
 エンディングが
 すごすぎる！

↑
 今映画見た！

撮影現場から
 移築したという
 『おしん (H13)』(斎藤寅次郎監督)
 山小屋のセット



他にも
 いろいろ
 生活道具
 ありました

『十三人の刺客 (H09)』
 (三池崇史監督)



↑
 キャスト衣装 ↑
 ほぼ黒い(西モカウイイ)



↑
 昭和38年公開
 工藤栄一監督版ポスター

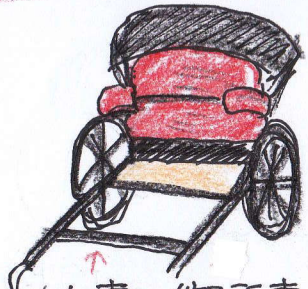


片岡千恵蔵に
 アラカンに 西村見仁
 山城新伍に丹波哲郎...
 すごい豪華キャストだなー
 (全員故人です)

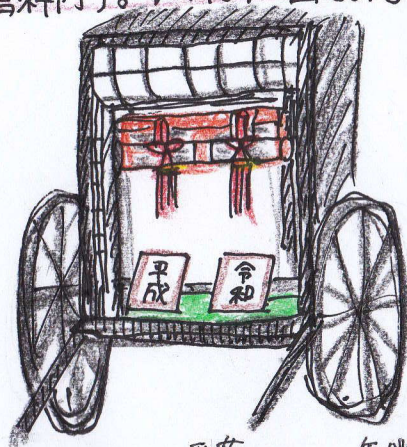
隠し人形や
 天井、欄干、
 セットの外観など
 小ネタ(?)や
 見どころ満載!

★ コスプレをしてみよう!

受付前、入口はいつでもすぐのところに
コスプレの小道具と衣装がありました!
撮影・貸衣装とも無料(入館料内)。いっぱい着てみましょう!



人力車と御所車が
ありました。乗ってOK!



カツラ、バッグ、刀(オモチャ)など
小道具もたくさん!



大人用も子ども用も
あります。



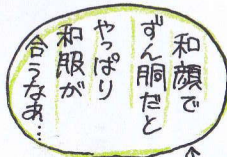
着物は暑かったので
せめた

我が子たちもチャレンジ。
娘: チャイナドレスに
ピンクのウィッグ
(微妙...))



似合っ型
(笑)

息子: 足軽甲冑
(大人用)



「庄内映画村株式会社」

基本情報

〒997-0158

山形県鶴岡市羽黒町

松ヶ岡字松ヶ岡29

松ヶ岡開墾場

Tel: 0235 (62) 2080

0235 (62) 2134 ← 予約専用

FAX: 0235 (62) 5181

HP: <http://www.s-eigamura.jp/>

映画村資料館

開館時間: 9:00~17:00 (X場16:30まで)

休館日: 年末年始

入館料: 先述

館内ガイド(要予約) 1,500円

駐車場: 約40台

※ Facebook, Twitter 有

※ 資料館はR1.12/1で閉館して
その後は特別展のみ公開とのこと。

